

花野たより

NPO法人阿蘇花野協会会報誌
VOL. 68号 2025年3月31日発行
2025. 春号

表紙写真: ミチノクフクジュソウ

TOPICS

西日本新聞2024年9月7日掲載記事
阿蘇の「花野」再生の20年

ナショナル・トラスト全国大会「刈干パック」報告

参加募集

令和6年度 春の阿蘇野の花観察会 2025年4月29日(火・昭和の日)
春の草刈り 2025年5月17日(土)



▶2024年9月7日、西日本新聞19面に「阿蘇の「花野」再生の20年」の記事が、およそ半面にわたって掲載されました。この記事は、阿蘇花野協会の20年間にわたる取り組みについて記者の方が詳細に取材され、掲載されたものです。
▶西日本新聞は、福岡県内で37万部の発行部数。翌日から福

岡からの入会申込みや場所の問い合わせが多数ありました。
▶三池山を守る会や大牟田生物愛好会などの団体などは、今年度トラスト地にて観察会を実施することになりました。植物が大好きな人たちの和が広がる大きなきっかけになりました。来年度はますます会員が増えることが期待されます。

2024年09月07日(土) 西日本新聞 朝刊 地E 019ページ



観察会参加者に身ぶり手ぶりで解説する瀬井純雄さん(左)
11月8日、熊本県高森町

阿蘇の「花野」再生の20年

熊本のNPO法人

多種多様な花々が季節ごとに咲き誇る。そんな阿蘇草原に本来あった「花野」を取り戻そうと活動する、熊本市の認定NPO法人「阿蘇花野協会」が10月に発足20年を迎える。放棄された原野を、野焼きや草刈りなど伝統的な手法で再生。ハナシノブやヤシロソウ、ヒメユリなど希少種も復活し、季節ごとに開催する観察会には会員も多くの山野草愛好者が集う。

8月23日、熊本県高森町の草原で「阿蘇の観察会」があり約50人が参加した。「今日の目玉の一つ、ツクシトランソです」。開始早々、同会専務理事の瀬井純雄さん(67)が声を張った。阿蘇を管轄する高森町に分布するこの草むらで青紫色の小花の房が風に揺れている。

参加者はその姿を写真に収めたり、瀬井さんの説明をメモしたりした。山口市から泊りがけで参加した田村氏(58)は賞賛の目。「いろんな花が咲く自然のままの姿を、昔の努力で維持していることが素晴らしい」と話した。



鮮やかな紫色の花が豪華に咲くツクシトランソ



黄色い花が夏の太陽に映えるホソバオグルマ

瀬井さんは元中学校の理科教師で、2004年10月の協会設立メンバーの一人。熊本大教育学部で学び、故郷高森のハナシノブをテーマに卒業論文を書いた。地産地消の草履園芸店に就いたのを機に、番組制作者らと協力を立ち上げた。初年度約30人だった会員は現在400人を超える。05年に環境省のハナシノブ保護区の種地地帯を、日本シヨナルトラスト協会の補助金(計800万円)で購入したのが最初。現在27ヶ所を管理する。年間約600万円の活動原資は会員や企業の寄付などだが、草原の草を堆肥や農業資材用に販売もしている。これは「草を資源として利用するシステムの新構築」の試みとして、環境省などで組織する阿蘇草原再生協議会から今年表彰された。

草原本来の姿を追求、希少種も復活



環境省レッドリストで「ごく近い将来に野生での絶滅の危険性が極めて高い」とされるハナシノブ

ま行われていた採草作業の手法で野花の生息環境を取り戻そうとしている。5月と10月に草を刈りスキを徹底して抑える。野焼きは安全に配慮して春ではなく秋に刈り草を焼く。これらには地元協力農家と会員有志が参加している。花の種や苗を植えたりはしない。「環境が戻れば眠っていた種が目覚ます。」(堀田正彦)



草むらの間で、房状に咲いた花を風に揺らすツルクイソライ



人の背丈より大きくなるシシウド。阿蘇の夏を代表する花の一つ

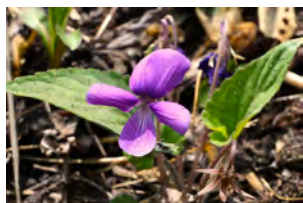


万葉集にも登場するヒメユリ。鮮烈な紅色の花が夏の草原を彩る



ナショナル・トラスト全国大会で「刈干パック」の利用を報告しました。

- ▶2024年12月7日(土)、Ike・Bizとしま産業振興プラザ(東京都豊島区)にて、第42回ナショナル・トラスト全国大会が開催されました。
- ▶「トラスト団体からの報告」の中で、阿蘇花野協会から瀬井理事が「花咲く阿蘇の草原復活～カヤ堆肥の持続的利用で野の花を守る～」について発表しました。
- ▶草原の保全のためには、持続的な草原利用の仕組みが必要ですが、草原の野草を「刈干パック」にして、農業に利用すると病気を防ぐ効果があることが佐賀大学の研究によって明らかになっています。刈干パック利用の取り組みが全国に広がることで、草原の植物たちが復活することを願っています。



サクラスミレ

令和7年度 春の「阿蘇野の花観察会」のご案内

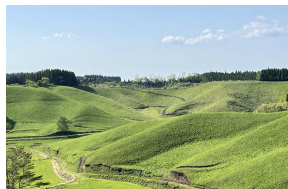
参加者募集

2025年度、春の阿蘇野の花観察会を下記の日程で行います。サクラソウ、ミチノクフクジュソウ、ヤマエンゴサクなどスプリング・エフェメラル(春の妖精)と呼ばれる植物や、キスミレ、アカネスミレ、サクラスミレなどスミレ類の花がたくさん見られます。たくさんのご参加をお待ちしています。

期	日	： 令和7年4月29日(火:昭和の日)＜雨天時は30日に延期＞
場	所	： Pro Natura Reserve阿蘇花野トラスト(阿蘇郡高森町野尻)
時	間	： 午前10時～12時
参	加	募
集	集	： 30名程度
合	場	所
持	物	： 阿蘇野の花の観察および野の花パトロール 弁当、飲物、帽子、軍手、メモ帳、筆記具など スマホかタブレット(お持ちであれば)
植	物	メ
モ	モ	： 阿蘇花野トラストの草原ではスミレやキスミレ、タチツボスミレ、ニオイタチツボスミレ、サクラスミレ、ツボスミレ、アカネスミレなどたくさんのスミレ類や、サクラソウ、ミチノクフクジュソウ、ツクシオガマ、ジロボウエンゴサク、ヤマエンゴサク、フデリンドウ、ヒトリシズカなどの花を見ることができます。



ヤマエンゴサク



春の草原

「春の草刈り」のご案内

参加者募集

昨年から行っている、「春の草刈り」を今年も実施します。10年以上野焼きを続けて「茅野」として維持してきた草原が2haほどありましたが、野焼きの中止に伴い保全方法を変えざるをえなくなりました。この草原は現状ススキが繁茂していて、ほとんど花がないススキだけの野原になっています。このススキを抑えるために、「春の草刈り」を行います。ススキが地下の養分を使って30cmほどに伸びたところを刈ってやると、翌年からススキの草丈が低くなりオミナエシやヒメユリなどがたくさん増える予定です。この時期の草は柔らかく草丈もそれほどありませんので、秋の草刈りに比べると楽です。ぜひ参加して、草原が変わりゆく姿を一緒にみてみましょう。

期	日	： 令和7年5月17日(日)＜雨天時は18日に延期＞
場	所	： Pro Natura Reserve阿蘇花野トラスト(阿蘇郡高森町野尻)
時	間	： 午前10時～15時
参	加	募
集	集	： 10名程度
合	場	所
持	物	： 阿蘇野の花の観察および野の花パトロール 弁当、飲物、帽子、軍手など。 刈払機、混合油など必要なものは協会で準備します。



ツクシオガマ

- 参加者にはボランティア保険をかけます。参加希望の方は、阿蘇花野協会事務局まで、e-mailか電話、FAXにて、住所・氏名・電話番号を明記の上、**春の観察会は4月24日(木)、春の草刈りは5月14日(水)まで**にお申し込み下さい。
◆電話 : 096-240-2906 ◆FAX : 096-300-3339 ◆e-mail : info@asohanano.com
- 初夏の阿蘇野の花観察会は、6月7日(土)
夏の阿蘇野の花観察会は、7月5日(土)に実施予定です。



当日の実施確認について

大雨警報発令・台風接近などの時には延期いたします(少雨決行)。当日の実施の有無は朝6時以降に、事務局(TEL:096-240-2906 e-mail:info@asohanano.com)にお問い合わせください。

本年度の活動スケジュールです。

NPO法人阿蘇花野協会の令和7(2025)年度スケジュールは、下記のとおりです。

各活動については事前にご案内をお送りし、参加者確定の上で実施いたします。ふるって、ご参加ください。

● 阿蘇野の花観察会 ● 草刈り・防火帯作り ■ 会報誌発行 ★ 調査研究活動

2025年度の活動スケジュール	
4月	● 春の阿蘇野の花観察会 4月29日(火・昭和の日) 予備日:4月30日(水) ※小雨決行 阿蘇花野トラスト地 サクラソウ、フクジュソウ、キスミレ、ヒトリシズカなど
5月	● 春の草刈り 5月17日(土) 予備日:5月18日(日)
6月	● 初夏の阿蘇野の花観察会 6月7日(土) 予備日:6月8日(日) 阿蘇花野トラスト地 ハナシノブ、ベニバナヤマシャクヤク、ツレサギソウなど ■ 会報誌「花野たより Vol. 69」発行
7月	● 夏の阿蘇野の花観察会 7月5日(土) 予備日:7月6日(日) 阿蘇花野トラスト地 ヒメユリ、ツクシマツモト、ユウスゲ、ノハナショウブなど
8月	● 盛夏の阿蘇野の花観察会 8月2日(土) 予備日:8月3日(日) 阿蘇花野トラスト地 ヤツシロソウ、カワラナデシコ、オミナエシ、ワレモコウなど ■ 会報誌「花野たより Vol. 70」発行
9月	● 秋の阿蘇野の花観察会 9月13日(土) 予備日:9月14日(日) 阿蘇花野トラスト地 ハナカズラ、イヌハギ、シオン、オオユウガギク、ヤマジノギクなど ● 防火帯作り 9月22日(土) ● 県支援事業 防火帯作り・防火帯焼き 9月下旬
10月	● 草刈り 10月4日(土) 予備日:10月5日(日) ● 草集め 10月11日(土) 予備日:10月12日(日) ● 刈干パック作り 10月～
11月	● 刈草焼き 11月8日(土) 予備日:11月9日(日)
1月	● 茅刈り講習会 1月下旬 ■ 会報誌「花野たより Vol. 71」発行
2月	● 茅刈り 2月～3月
3月	■ 会報誌「花野たより Vol. 72」発行

阿蘇花野協会は、下記の各団体からの寄付・助成金を受け、活動しています



発行



認定NPO法人

阿蘇花野協会

〒862-0912 熊本市東区錦ヶ丘3番15号
TEL:096-240-2906 FAX:096-300-3339

この冬はいつにもまして寒い日が続きました。雪害にご苦労された皆さんに心よりお見舞い申し上げます。阿蘇も3月まで雪が舞う日もありましたが、ようやく気温が上がり、春らしい日差しにほっとする思いです。阿蘇の花野もいちばん美しい季節を迎えます。多くの皆様のご参加をお待ちします。

k.mori@airs.ne.jp (広報担当:森)